国民の立場で政治を前に動かす 日本共産党

「建設的野党」として全力

新しい政治 さらに前へ

国民は先の総選挙で自民・公明政権退場の審判を下しました。日本共産党は、政治をさらに前にすすめるため「建設的野党」として全力をつくします。

日本共産党は、新政権のもとで国民要求実現へ全力をあげるとともに、不安や批判を代弁して問題点をただします。「脱官僚依存」の名による「国会改革」や比例定数削減など民主主義に反する政治の後戻りは許しません。

▲代表質問をする市田さん。奥は鳩山首相＝09年10月30日、参院本会議

国民の願い実現。政治の後戻り許さず

労働者派遣法の抜本改正
医療・介護などの負担軽減
障害者自立支援法の「応益負担」廃止
中小企業融資の拡充、休業補償
再生産可能な農家収入を保障
高校・大学の学費無償化

問題点をただし、国民が望む具体策を提起

民主党政権は、自公政権からの転換が求められる「要」の問題で、公約から後退が次つぎ。日本共産党は国民の願いにこたえる具体策を示しています。

雇用

「昨年の『派遣村』より悪化」の危険

旧来の延長でない失業者支援、労働法制の抜本的な転換を

後期高齢者医療

「延命させれば、さらなる混乱と負担増に」

先送りすることなく、ただちに廃止を

沖縄・普天間基地

「県内たらいまわしは、公約違反」

普天間基地は無条件に撤去を。対米従属外交からの転換こそ

プロフィール 人情情熱 近畿が生んだ「建設的野党」の大黒柱

1942.12　大阪・森ノ宮に生まれ、滋賀・五個荘町に育つ。幼いころ父が死去
61　滋賀県立八日市高校卒
63　日本共産党に入党
67　働きながら立命館大学2部卒。繊維商社、弁護士事務所を経て龍谷大学図書館司書として勤務

お母さんと

71　党活動に専念。伏見地区委員長、京都府委員長など歴任
94　常任幹部会委員
98.7 参議院議員に初当選
2000.11 第22回党大会で書記局長に
04.7 参議院議員に再選。環境委員

夜学び 昼は勤めて 得しお金 肉など買えと 送りてくれぬ

立命館大学2部当時の市田さんをうたったお母さんの歌

大企業中心 アメリカいいなり 「2つの政治悪」に切り込み論戦リード

市田さんの国会質問

参議院議員2期12年。市田さんは、代表質問や委員会質問などで、常に国会論戦をリードしてきました。

偽装請負を告発（06・10予算委）

水俣病患者と懇談（05・6）

奈良の首長・議長と懇談（08・7）

雇用 派遣法抜本改正へ口火きる

1999年の派遣労働の自由化に参議院労働委員会で、ただ一人反対の論陣を張り、「派遣労働者保護法案」をはじめて提出。2006年には偽装請負問題を告発、派遣法見直しに先鞭（べん）をつけました。

平和 米軍再編の危険を明らかに

沖縄の米軍普天間基地の危険性を追及。「沖縄国際大学へのヘリ墜落（04年8月）は、25メートルプール（の大きさのヘリ）が降ってきたようなもの」との追及に小泉首相（当時）も〝ギョッ〟。米軍再編で岩国基地（山口県）が世界最大の米軍航空基地にされることを明らかにし、米軍基地の全面撤去を要求しました（06年3月）。

環境 温室ガス削減へ実効ある措置を

鳩山政権が打ち出した温室効果ガス25％削減のためには、排出量の8割をしめる産業界への規制が不可欠。国と産業界が削減量を約束する「公的削減協定」締結を一貫して提案してきました。

環境問題 質問50回以上

本会議や環境委員会で環境問題の質問は50回以上。地球温暖化対策をはじめ大気汚染やアスベスト、水俣病などの被害者救済、健康被害が発生した産廃処分場、そしてムダな公共事業による自然破壊や動植物の保護問題など、身のまわりから地球まで環境対策に全力でとりくんでいます。